



2015年時点で、

23億人が
トイレなどの基本的な
衛生設備を持って
いません。

プロジェクトメンバー

プロジェクトリーダー

山内 太郎 地球研/北海道大学

サブリーダー

船水 尚行 室蘭工業大学

所内メンバー

林 耕次 プロジェクト研究員

中尾 世治 プロジェクト研究員

本間 咲来 プロジェクト研究推進員

木村 文子 プロジェクト研究推進員

主な所外メンバー

伊藤 竜生 北海道大学

牛島 健 北海道立総合研究機構

池見 真由 札幌国際大学

片岡 良美 北海道大学

佐野 大輔 東北大学

中谷 朋昭 横浜市立大学

鍋島 孝子 北海道大学

藤原 拓 高知大学

原田 英典 京都大学

井上 京 北海道大学

SINTAWADANI, Neni インドネシア科学技術院

NYAMBE, Imasiku Anayaw ザンビア大学

LOPEZ ZAVALA, Miguel Ange モンテレイ工科大学



私たちの目指す ゴール

私たちは先進国と
開発途上国の両者の
共通の解決策として、
「サニテーション価値連鎖」
というモデルを提案します。

こうした23億人のうち、
8億9,200万人が

野外で
用を足しています。

衛生設備が悪いことと、

伝染病

(コレラ、下痢、赤痢、A型肝炎、
腸チフス、ポリオなど)の蔓延は関連
しています。

また、衛生設備が十分に整備されていないことは、
栄養失調の原因にもなります。

サニテーション価値連鎖の提案
—地域のヒトによりそうサニテーションのデザイナー—

総合地球環境学研究所(地球研)
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4
Email sanitation_HQ(at)chikyu.ac.jp TEL 075-707-2331
http://www.chikyu.ac.jp/sanitation_value_chain/

サニテーションって何？

「ヒトの尿や糞便を安全に処分するための設備やサービスの提供を一般的に指し...
ごみ収集や下水処理を通じた衛生状態の維持も意味します。」(WHO)



プロジェクトの3つの研究トピック

ライフ

それぞれの地域の人びとの価値観や歴史的な展開に着目して、サニテーションと生活との関わりを明らかにしていきます。

テクノロジー

サニテーション技術を使うために必要な条件やその価値を再評価します。
また、これまでとは異なる前提条件に対応するための技術開発を行います。

共創

地域ステイクホルダーとの協働を通じて、価値連鎖サニテーションのしくみを共創し、具体化していきます。

サニテーションは価値連鎖

トイレは便器だけがあっても使うことはできません。
トイレの周りには、水やモノ、エネルギーが流れています。
そして、いろんな人たちが関わっています。
サニテーションはこれらのヒトたちで作り上げる価値の連鎖なのです。

